

奈良県立美術館

プレスリリース／2026年2月23日

特別陳列

日本の伝統文化を知る 刀と撥鏤^{ぼちる}

Discovering Japanese traditional culture KATANA and Works of BACHIRU decoration

令和8（2026）年4月18日（土）－6月14日（日）

主催・会場 奈良県立美術館

古代から現代、そして未来へ—奈良で紡がれる伝統と技に親しむ

展覧会の趣旨

奈良県立美術館では、令和6年度から“日本の伝統文化を知る”展覧会シリーズとして、所蔵作品を中心に奈良や日本の伝統文化を紹介し、その魅力を発信しています。このシリーズの一環として、令和8年度春の特別陳列では刀と撥鏤^{ぼちる}という2つの分野を取り上げます。

刀の部では、「刀の表情にふれる—奈良県立美術館コレクションから—」と題して、当館所蔵・寄託の刀剣やその文化に関連した作品を中心に展示します。古代からの都であり、数多くの社寺が存在した奈良では、貴族や社寺の需要に応えるために刀剣が作られ、奉納されてきた歴史があります。一方、現代まで伝わった刀剣の保存のほか、刀匠をはじめ、研師などさまざまな人々が刀剣文化を残すための活動を続けています。奈良における刀剣の歴史や作品の魅力を通して、古代から現代まで息づく刀剣の文化を紹介する機会とします。

撥鏤^{ふみゆき}の部では、「天平から宇宙へ—人間国宝・吉田文之の撥鏤—」と題して、撥鏤技法を追究し、創作活動を展開した、撥鏤分野で唯一の人間国宝（重要無形文化財保持者）・吉田文之（1915—2004）を紹介し、撥鏤とは、象牙を赤や紺などに染め、そこに細やかな模様を彫り表す技法のことです。本展では令和6年度に当館に寄贈された吉田文之の作品2点を公開するとともに、館外に所在する作品を展示し、文化財模造から創作までこなした幅広い仕事ぶりを紹介します。染めた象牙に模様を彫り表す撥鏤技法ならではの、繊細な表現をお楽しみください。また漆工・木工を中心に彼と近い時代に活躍した奈良の工芸家にも触れ、近現代の奈良の伝統工芸について紹介します。

あわせて、現代での保存の取り組みを専門家により紹介するイベントや、学芸員による美術講座など、さまざまな関連プログラムの開催を通して、現代の生活とは少し距離感のあるように感じる伝統文化が、今もどのように守られ、伝わっているかについて学び、その魅力を改めて感じる機会とします。

伝統文化に広く共通することですが、かつて盛んだった文化や技術を、現代でどう評価し、守り伝えていくかは、未来へ貴重な文化的財産を伝えていく美術館にとっても重要な課題です。本展では、刀と撥鏤という、奈良で歴史を紡いできたという共通点を持つ2つの分野が、現代にどう息づいているかを通して、地域に根ざした文化の魅力を感じ、その価値が未来へと繋がっていくことを目指します。

本展の見どころ

1. 奈良県立美術館所蔵品の刀剣を中心に、奈良の刀剣の文化を紹介

…奈良県立美術館所蔵・寄託の刀剣を中心に、武具として、工芸品として優れた素材と高い技術を駆使して制作されてきた刀剣の特徴や見どころを展覧し、奈良における刀剣の歴史や魅力という視点から、古代から現代まで息づく「奈良ならではの」刀剣の文化を紹介します。

2. 撥鏤分野で唯一の人間国宝（重要無形文化財保持者）・吉田文之の作品を紹介

…正倉院宝物にも見られる撥鏤。この技術を追究し、奈良で活躍したのが吉田文之です。令和6年度に寄贈された吉田文之の作品2点を本展で初公開するとともに、文化財模造から創作までこなしたその幅広い作品を紹介します。

出品件数（予定）	約 110 件
展示構成	<p>刀の部 刀の表情にふれる—奈良県立美術館コレクションから—</p> <ul style="list-style-type: none"> I 刀の表情にふれる <ul style="list-style-type: none"> I-1 奈良の刀の歴史にふれる I-2 刀の美しさ II 刀の文化 <ul style="list-style-type: none"> II-1 鐺<small>つば</small>：刀を彩る美にふれる II-2 刀の文化を伝える <p>撥鏤<small>はくろう</small>の部 天平から宇宙へ—人間国宝・吉田文之の撥鏤—</p> <ul style="list-style-type: none"> I 吉田文之—撥鏤の技を極める <ul style="list-style-type: none"> I-1 正倉院宝物に学ぶ—模造の取り組み I-2 正倉院宝物からのデザイン展開 I-3 北極、天体への関心 II 吉田文之とその周辺 近現代の奈良の伝統工芸—木漆工を中心に

▼展覧会の基本情報と来館案内

主催・会場	<p>奈良県立美術館 〒630-8213 奈良県奈良市登大路町 10-6 TEL 0742-23-3968/FAX 0742-22-7032 美術館公式ホームページ 旧 URL : https://www.pref.nara.jp/11842.htm (3月16日 19:00 まで(予定)) 新 URL : https://www.pref.nara.lg.jp/n044/11842.html (3月16日 19:00 から (予定)) X (旧ツイッター) : ArtmuseumN Facebook : narakenmuseum Instagram : nara_artmuseum</p>
会期	令和 8 (2026) 年 4 月 18 日(土)~6 月 14 日(日)
協力・後援	<p>協力：式年遷宮記念 神宮美術館 後援：NHK 奈良放送局、奈良テレビ放送、奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、 近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、公益社団法人奈良市観光協会、奈良県教育委員会、 奈良市、奈良市教育委員会</p>
開館時間	9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日	月曜日、5/7(木) ※5/4(月・祝)は開館
観覧料 (予定)	<p>一般 600 (400) 円、大学生 400 (200) 円 ※ () 内は団体料金 (20 名以上) ※小・中・高生及び 18 歳未満は無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳 (アプリを含む) をお持ちの方と介助の方 1 名は無料</p>
交通案内	<p>近鉄奈良駅 1 番出口から徒歩 5 分 JR 奈良駅 東口バス乗り場より奈良交通バス 「県庁前」下車</p>

▼会期中の催し

関連イベント	<p>◆講演会「奈良県の刀剣の保存活動」 日時：5 月 3 日(日・祝) 14:00~15:30 (13:30 開場) 講師：海野啓之 [奈良県文化財課] 定員：60 名 (当日先着順) 会場：レクチャールーム</p> <p>◆美術講座 1「刀の表情にふれる」 日時：5 月 24 日(日) 14:00~15:30 (13:30 開場) 講師：深谷聡 [当館学芸員] 定員：60 名 (当日先着順) 会場：レクチャールーム</p>
--------	---

◆美術講座 2「吉田文之の撥鏤」

日時：6月7日(日) 14:00～15:30 (13:30 開場)

講師：飯島礼子 [当館学芸員]

定員：60名 (当日先着順)

会場：レクチャールーム

◆担当学芸員によるギャラリートーク

刀の部 日時：5月9日(土)・5月30日(土)

撥鏤の部 日時：4月18日(土)・5月16日(土)

いずれも 14:00～ 約1時間

会場：展示室

◆「天平から宇宙へー人間国宝・吉田文之の撥鏤ー」学芸員と巡る単眼鏡ツアー

日時：4月25日(土)・6月13日(土)

11:00～/14:00～ 各回約50分

定員：各回10名 (当日先着順) ※各回開始30分前より整理券配布

会場：展示室

※各イベントは参加無料。ただし、ご参加には当日の観覧券が必要です。

※詳細については、随時、当館ホームページに掲載いたします。

内覧会

下記の日程で、関係者・プレス向けの内覧会を開催いたします。

参加ご希望の方は、当日当館までお越しください。

4月17日(金) 14:00～16:00

14:15～ 開会式

14:30～ 担当学芸員による展示解説

取材のご依頼

広報に関するお問い合わせ

奈良県立美術館 (展覧会企画担当：学芸員 深谷聡・飯島礼子・村上かれん)

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

TEL：0742-23-3968 FAX：0742-22-7032

E-mail：narakenbipress@office.pref.nara.lg.jp

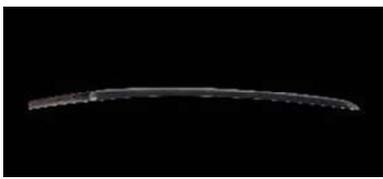
広報用画像リスト

◇展覧会広報用に下記の画像を用意しております。ご希望の画像の番号（1～5）をお知らせください。

◇必ず下記の**キャプション**をご掲載ください。

ただし、ルビ（ふりがな）を付けるかどうかと制作年代の掲載は各メディアの判断に委ねます。

◇掲載にあたり作品部分のトリミング、文字載せはご遠慮ください。

No.	画像	キャプション	備考
1		「刀 銘（表）（葵紋） <small>ぶしゅうえどにおいてまぢぜんやすつぐ</small> 江戸時代 奈良県立美術館 蔵	
2		「 <small>きじくじゃくもんらでんぼそだち ひらお</small> 木地孔雀文螺鈿細剣 平緒付」 江戸時代 奈良県立美術館 蔵	
3		吉田文之 「 <small>こうげぼちるのしゃく</small> 紅牙撥鏤尺（正倉院宝物復元模型）」 昭和中期～平成前期 式年遷宮記念 神宮美術館 蔵	
4		吉田文之 「 <small>しょうそういんもんようそうげぼちるそうしんぐ</small> 正倉院文様象牙撥鏤装身具」 昭和 40～50（1965～1975）年頃 奈良県立美術館 蔵	
5		吉田文之 「 <small>ぼちる</small> 撥鏤ブローチ（天の川白鳥）」 平成 10（1998）年頃 式年遷宮記念 神宮美術館 蔵	

奈良県立美術館 ◇ 〒630-8213 奈良市登大路町 10-6 ◇ TEL 0742-23-3968 FAX 0742-22-7032

◇旧 URL : <https://www.pref.nara.jp/11842.htm> (3月16日 19:00 まで (予定))

新 URL : <https://www.pref.nara.lg.jp/n044/11842.html> (3月16日 19:00 から(予定))